

ダイワコーポ

川崎の冷凍冷蔵倉庫でスターゼンと契約

食品流通加工施設併設の物流センター

ダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）は14日、川崎市川崎区東扇島でBTS型（特定企業専用）として建設中の物流施設「川崎営業所」（完成イメージ）について、スターゼン（本社・東京都港区、横田和彦社長）と定期建物賃貸借契約を締結したことを明らかにした。地上7階建て、施工床面積3万9500㎡で、食品の流通加工施設を併設する物流センターとなる。

スターゼンの物流戦略を担う「東の拠点」として、ダイワコ

ーポレーションが東扇島に建設中の物流施設について、同社との間で定期建物賃貸借契約を締結したもの。施設名称を「スターゼン東扇島センター」とし、2026年5月から稼働を予定している。

スターゼンでは、物流拠点の集約による効率化を通じてCO₂排出量の削減を推進。今回新設の施設では、保税倉庫の許可を取得して業務拡大を図るとともに、物流の効率化によるコスト削減と環境対策に取り組むとしている。



ダイワコーポレーションでは「今後もお客様のニーズにお応えする立地やお客様の事業継続に最適な物流施設を展開し、さらなる物流サービスの向上を目指していく」としている。 ■